

コナカ、自宅でオーダースーツ

ネット接客、アプリで採寸も

紳士服のコナカはオーダースーツの専門業態「ディアランス」でオンライン接客を始めた。顧客は自宅に居ながら、ビデオ通話サービスでサイズ感や着こなしを相談できる。スマートフォンで写真を撮影し体形を採寸できるアプリも同時に使える。新型コロナウイルスの感染拡大で外出を控える人が増える中、スーツの買い替え需要を掘り起こす。

利用者は身長や体重、色や柄の好みなどを専用の用紙に記入してコナカに送付。指定された日時にビデオ通話サービスを通じ、ディアランスの従業員から接客を受け、生地を選び方から完成後の着こなしまで相談できるほか、既に作成したスーツの再調整についても対応する。

コナカはディアランスで、顧客が自分の画像を撮影し体形を採寸できるアプリや、スマホでオーダースーツを購入できるサービスを提供している。オンライン接客の場合同も、既存のアプリやサービスを利用できる。5月2日から9日間限定でオンライン接客を実施したところ「利用者が想定を上回った」（コナカ）ため、期間の延長を決めた。現在は31日まで提供する予定だが、再度の期間延長や通常サービスを利用できる。



「ディアランス」の店員がオンラインで接客する



スマホで撮影し体形を採寸できる

ビスとしての開始も検討している。

コナカは2016年にオーダースーツの専門店としてディアランスを立ち上げた。初回のみ店舗で従業員が採寸し、2着目以降は足を運ばずに注文できるのが特徴だ。価格は2着で4万8000円から。最短2週間の納期で商品を提供する。

18年には人工知能(AI)開発ベンチャーのアリスマー(東京・港)と提携。スマホのカメラを使った自動全身採寸サービスの提供を開始した。今年2月にはコナカの別業態「スーツセレクト」でもスマホ採寸を始め、ネットの手軽さと実店舗の接客を融合した事業展開を進めている。

現在約50店舗を展開するディアランスだが、新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受け、4～5月には臨時休業している。オーダースーツの採寸では従業員と来店客

が密着に触れ合うため、他の業態と比べて感染予防施策の充実が急務となっている。